

どんぐり村の こみ・すく通信

令和6年5月10日発行

令和6年度第4号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

第1回コミュニティ・スクール委員会「地域とともにある学校」を目指して

学校運営協議会の後に開催されたコミュニティ・スクール委員会では、原田委員長が選出されました。委員は以下のとおりです。【敬称略】

委員長	原田 憲末	更別中央中学校運営協議会代表
委員	高木 徹	更別小学校運営協議会代表
	富士野俊晴	上更別小学校運営協議会代表
	山上 文博	更別小学校校長
	長澤 啓二	上更別小学校校長
	小室 彰人	更別中央中学校校長
	霜野 敬夫	更別村社会教育委員の会委員長
	家常 直輝	更別村社会教育委員の会副委員長
	酒井 智寛	更別村子育て応援課長
	伊東 秀行	更別村教育委員会教育次長
	宝輪 祐子	更別村コミュニティ・スクール コーディネーター



コミュニティ・スクール委員会の様子

各学校運営協議会の報告の後、事務局から今後の委員会の取組として、以下の4つの重点を提示し、承認されました。

(1)「更別村CSアクションプラン」の重点

- ①「子どもの自己肯定感を高めるために」の具体的な取組につなげる。
- ②体：地域での取組「少年団・部活動にいろいろな形で応援や支援をする」について部活動改革(の地域移行)の基本的な考え方を学ぶ。

(2)更別村の小中学校の連携「どんぐり村子ども会議」の継続。

- 「いじめ根絶」や「SNS」等について協議を深める。

(3)更別村学校・地域による協働組織「みんなの学校応援団」への協力依頼

- みんなの学校応援団と学校との連携を密にし、教育効果を高める。

(4)コミュニティ・スクールに関する周知及び理解促進

- 「こみ・すく通信」の発行、コミスクコーナーの設置など、広報活動の充実を図る。



各学校運営協議会からの報告

- ①各学校運営方針(3号で紹介した内容の他)
- ②子供が社会や地域とのつながりを通して成長する教育活動について出たアイデアや意見

更別小学校 学校運営協議会

- ①今年度100周年を迎えるということで、「大地とともに未来へつなげ更別小」というキーワードをもとに進んでいく。
- ②・JAさらべつ青年部による農業体験、おひさまによるおはなし会は、今後も継続してほしい。
 - ・2年生のまち探検の成果物を村内で紹介できると良い。

上更別小学校 学校運営協議会

- ①楽しく学ぼうとする意欲の向上、創意工夫を活かした教育課程の編成等を図る。
- ②職場体験、見学(お店や公共機関)、農場での農作業体験、トラクターの写生会や試乗体験会、上更別地域の親子植栽への積極的参加等、多くのアイデアが出された。

更別中央中学校 学校運営協議会

- ①自己肯定感や自己有用感を高めるしかけを、教育活動の中で行っていく。
- ②・コミュニティーナースを活用した他世代と交流する機会をつくる。
 - ・生徒が高齢者の方にスマホを教える機会をつくる。
 - ・文化祭でかしわ太鼓の発表を復活させる。
 - ・商工会の盆踊りのお手伝いをする。(準備やブースを担うなど)
 - ・今後も職場体験などで子供たちに様々な体験をさせ、更別の産業を知る機会をつくってほしい。